

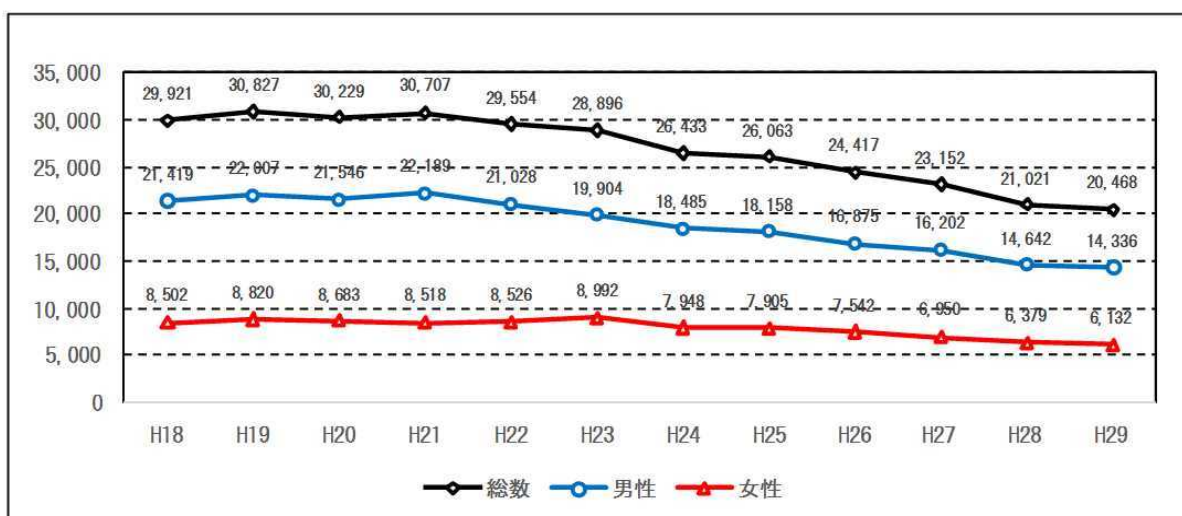
第2章 自殺をめぐる現状と課題

1 全国や東京都の自殺の現状

(1) 自殺者数の推移

全国の自殺者数は、平成18年に「自殺対策基本法」が施行された後も3万人を超えていましたが、平成22年には3万人台を割り、以降8年連続の減少となりました。平成29年は20,465人で、男性は、女性の2.3倍となっています。

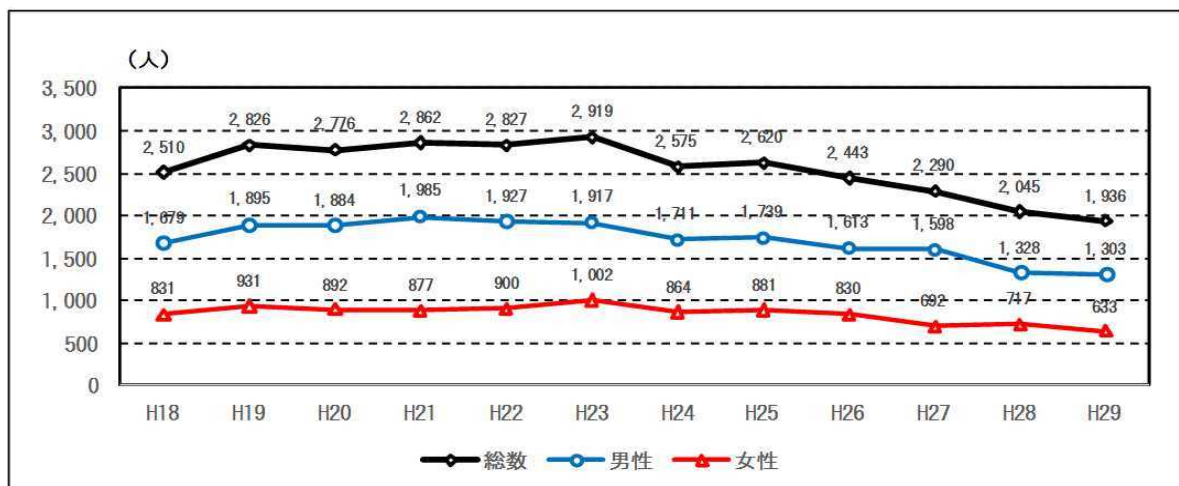
【図4：自殺者数の推移（全国）】



出典：厚生労働省「人口動態統計」
(※令和元年11月28日修正)

東京都の自殺者数は、平成23年の2,919人をピークに減少傾向に転じています。平成29年は1,936人で2,000人を割り、男性は、女性の2.1倍です。

【図5：自殺者数の推移（東京都）】

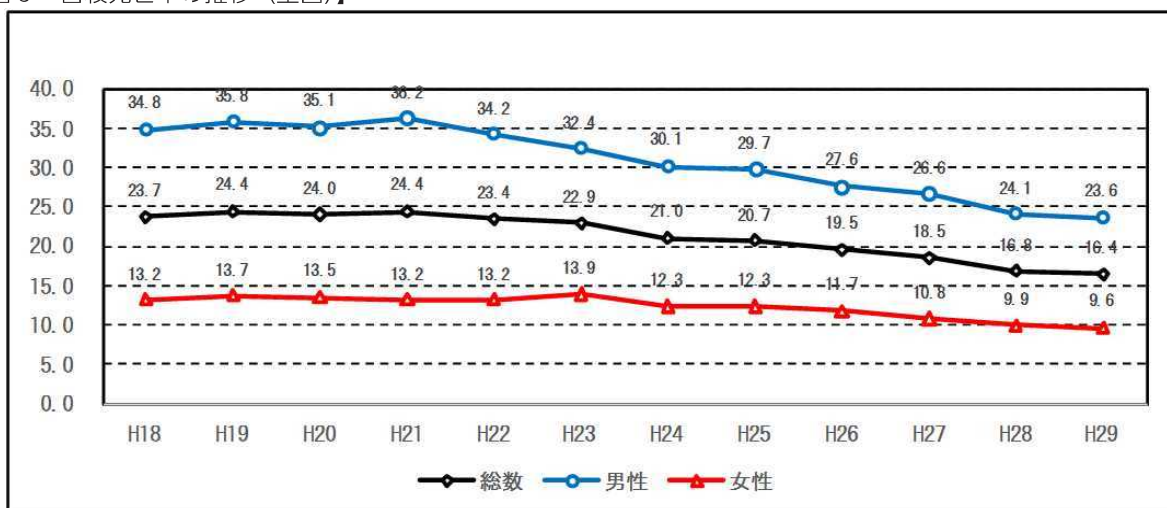


出典：厚生労働省「人口動態統計」

(2) 自殺死亡率の推移

全国の自殺死亡率は、平成22年以降低下し、平成29年は、昭和53年から始めた自殺統計で過去最低となる16.4で、男性は女性の2.5倍となっています。

【図6：自殺死亡率の推移（全国）】

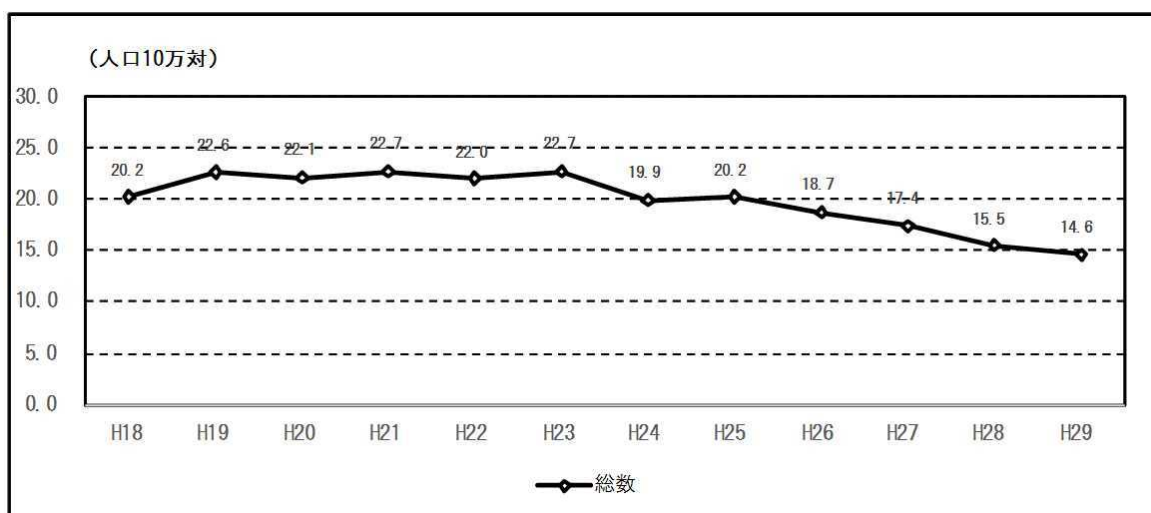


出典：厚生労働省「人口動態統計」
(※令和元年11月28日修正)

東京都の自殺死亡率は、平成23年まで20を超える高い数値が続き、その後は低下しています。

なお、平成18年以降いずれの年も自殺死亡率（総数）は、全国を下回っています。

【図7：自殺死亡率の推移（東京都）】



出典：厚生労働省「人口動態統計」
(※都道府県の自殺死亡率の推移は、総数のみ公表されているため修正)